

公明党 森 しず子 議員



- 1 再生可能なエネルギーについて
- 2 健康づくりについて

質問1 メガソーラー事業の現況、業者の選定。公共施設の屋根貸し等による太陽光発電はどうか。

答弁1 市内業者2社、県内業者3社、県外業者2社からの応募があり、事業計画・事業遂行能力・地域貢献に関する提案など総合的に評価し、(株)シーテックに決定した。事業概要は、パワーコンディショナーで1,000kW、想定年間発電量は約139万kWで、平成25年8月から工事着工し、平成26年2月から発電を行う。公共施設の屋根を貸すことにより、賃貸料収入が見込めるメリットはあるが、屋根への設置は、重量問題等の制約により、課題も

多くある。

質問2 がん検診の受診状況。ピロリ菌検査の導入はできないのか。高齢者肺炎球菌ワクチン費用助成啓発について。

答弁2 胃がん検診総受診者6,585人、受診率14.5%。大腸がん9,193人、受診率20.2%。肺がん9,774人、21.5%。前立腺がん3,824人、25.3%。乳がん4,172人、10.6%。子宮がん5,153人、13.1%と増加傾向にある。ピロリ菌除菌と胃がんの死亡率低下の効果が実証されていないので、今後も情報収集に努め、国の方針に従い対応する。今年度から65歳以上の方々を対象に、ワクチン予防接種に3,000円の助成を開始した。ワクチン効果にも持続性があり、費用対効果も高いものと考えているので今後も周知に努めていきたい。

リベラル鈴鹿 市川 哲夫 議員



- 1 台風17号について
 - (1) 河川の氾濫について
 - (2) 被災に対する支援について

質問1 (1) 河川の氾濫に対する消防の避難・救助の体制はどうであったのか。また、堀切川・中ノ川の現在の整備状況はどうなっているのか。

答弁1 (1) 消防の体制については、消防統制班と消防活動班を編成し、初動対応の強化に重点を置いた災害対応を図っている。人員としては最終的に消防職員150人、消防団員288人で対応にあたった。堀切川の整備は、県が管理する4.7kmのうち2.4kmが整備完了し、1.5kmの引堤事業を実施している。本市が管理

する3.25kmのうち0.6kmを第1期事業区間として事業着手している。中ノ川は県管理であり、河口から亀山市田茂町までの1次改修は完了している。

質問1 (2) 台風17号による道路と河川の被害数と補助対象数は。また、家屋の浸水に対する市税の減免や市からの支援はあるのか。

答弁1 (2) 国道は被害なし。県道は2路線が被害にあり、1路線が補助対象となっている。市道は137箇所の被害で市費での復旧を行っている。国と県が管理する河川で29箇所の被害があり、災害復旧工事の申請を行った。市が管理する河川は52箇所に被害があり、9箇所の補助申請を行った。市税の減免については、固定資産税・市民税・国民健康保険税等を減免した。また、床上浸水と汲み取り料金に対する見舞金も支給している。

市民クラブ 大西 克美 議員



- 1 給食費の未納について
- 2 市民要望の早期解決について

質問1 給食費の未納現況はどうなっているのか。徴収強化方法は。新たな徴収方法は考えているのか。

答弁1 昨年度の未納者71名、全体に占める割合は0.56%、未納額は151万7,502円で、全体の0.28%である。未納者に対しては、卒業後も電話や文書で納付を促すなどし保護者に催促する。保護者への依頼の仕方が大切であると考え、啓発や督促は年間通じて行うとともに、全員喫食の完全給食を実施している伊勢市や松阪市等にも聞き取りをして調査研究していく。

質問2 土木部における現況件数及び年間消化件

数。積み残しを消化する予算はいくらなのか。要望の再チェック、仕分けはどうしているのか。

答弁2 道路整備関連で、平成23年度末現在要望積み残し件数は約700件、今年度実施は17件。道路保全関連は舗装約450件で、実施は20件。交通安全施設は約50件で、300件実施。維持修繕関連は積み残しはなく約700件全て実施。河川関連は改修約170件で、6件実施。修繕等約380件で、112件実施。積み残しの消化には道路整備に約70億、道路保全に約10億、河川に約20億円が必要。地区担当職員が自治会に連絡を取り、現地立会・内容確認し、実施の可否判断をしている。



学校給食